

2026 年 8 月 17 日

報道関係各位

株式会社カネカ
広報（Public Relations）部

ソーシャルボンド（社会貢献債）を発行

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：藤井 一彦）は、北海道の苫東工場における医療用カテーテルの新プラント建設（※1）に関連する資金調達を目的として、第 10 回無担保普通社債「ソーシャルボンド（社会貢献債）」を発行します。募集金額は 100 億円、発行年限は 5 年で 2026 年 9 月発行予定です。

Medical 事業においては、「健康」に関する社会課題解決に向け、血管内治療用カテーテルや血液浄化器などの医療機器を通じ、さまざまなイノベーションを提供しています。

この度発行するソーシャルボンドは、現在、建設中であるカテーテル新プラントにおける設備投資に関する支出へ充当することを予定しています。本投資によりカテーテルの生産能力は現状の約 2 倍になります。

先進国を中心とした高齢化の進行に伴う三大疾病（心疾患、脳疾患、がん）の世界的な患者数の増加を背景として、患者への負担が少ない医療用カテーテルを用いた手術の需要が高まっております。この生産能力増強により、拡大する需要に応える供給基盤を確保します。

当社は「カネカは世界を健康にする。KANeKA thinks “Wellness First”」という考えのもと、すべての人に先端医療が当たり前に普及する世界、地球環境と生活の革新にカガクが貢献する世界を実現します。苫東の地から、「夢見る工場、カネカ」が叶えます。

< ソーシャルボンドの概要 >

名称：株式会社カネカ第 10 回無担保普通社債

発行体：株式会社カネカ

発行額：100 億円（予定）

発行年限：5 年（予定）

発行時期：2026 年 9 月（予定）

主幹事：野村證券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、
大和証券株式会社、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

ストラクチャリングエージェント（※2）：野村證券株式会社

資金使途：北海道苫東工場における設備投資関連支出

ソーシャルボンドとしての適格性：

当社は、今般のソーシャルボンド発行にあたり、国際資本市場協会（ICMA）の定める「ソーシャルボンド原則（SBP）2025」、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）及びローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）の定める「ソーシャルローン原則（SLP）2025」及び金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン（2021年版）」に基づき、2023年11月に策定したソーシャルファイナンス・フレームワークの一部を更新しました。第三者評価として、株式会社格付投資情報センターから、当フレームワークがこれらの原則等に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しております。

以 上

(※1) 北海道に医療用カテーテル新プラントを新設 ー約 100 億円を投資ー グローバルに Medical 事業を拡大ー <https://www.kaneka.co.jp/topics/news/2024/nr2411071.html>

(※2) ソーシャルファイナンス・フレームワークの策定およびセカンドパーティ・オピニオン等外部の第三者評価の取得に関する助言等を通じて、調達支援を行う者